

4月に開始されたブロッキングの 現状と実態

2011年7月22日

社団法人日本インターネットプロバイダー協会
会長補佐、行政法律部会長 木村 孝

ICSA

- 一般社団法人インターネットコンテンツセーフティ協会 (ICSA)
- 2011年3月3日発足
- 4月1日 リストの提供を開始
- 4月21日 ISP等によるブロッキングが開始

4月21日 16社で開始

流通防止措置実施事業者一覧

プロバイダー	
会社名	サービス名
NECビッグロープ株式会社	BIGLOBE
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社	各インターネット接続サービス
株式会社NTTぷらら	インターネット接続サービス
KDDI株式会社	各インターネット接続サービス
ソネットエンタテインメント株式会社	各インターネット接続サービス
ソフトバンクテレコム株式会社	インターネット接続サービス
ソフトバンクBB株式会社	インターネット接続サービス
ニフティ株式会社	インターネット接続サービス
株式会社インターネットイニシアティブ	各インターネット接続サービス
検索サービス	
会社名	サービス名
NTTレゾナント株式会社	gooウェブ検索
Google Inc.	Web検索
ネイバージャパン株式会社	NAVER検索
ヤフー株式会社	Yahoo!検索
フィルタリングサービス	
会社名	サービス名
デジタルアーツ株式会社	「i-フィルター」他
ネットスター株式会社	フィルタリングサービス 他
ヤフー株式会社	Yahoo!あんしんねっと

6月20日 新たに15社のプロバイダ がICSAの会員として参加

別紙： 新たにICSAに入会した事業者について（50音順）

会社名
イツ・コミュニケーションズ株式会社
インターネットマルチフィード株式会社
株式会社エヌ・ティ・ティ エムイー
九州通信ネットワーク株式会社
近鉄ケーブルネットワーク株式会社
株式会社ケイ・オブティコム
高岡ケーブルネットワーク株式会社
株式会社TOKAI
トナミ運輸株式会社
株式会社新潟通信サービス
株式会社ネスク
株式会社ハートネットワーク
株式会社ハイホー
株式会社フォーサイトウェーブ
福井ケーブルテレビ株式会社

5月12日オーバーブロッキング発生

[発生日時]2011/05/12 04:00

[復旧日時]2011/05/12 11:59

[故障原因]ネットワーク機器への設定誤り

[更新日時]2011/05/12 17:14

[故障内容]

一部のお客様におかれまして、弊社ネットワーク機器への設定誤りにより、一部サイトにおいて児童ポルノサイトのブロック画面が表示され接続できない状態となっております。

現在は復旧しております。

本事象は、弊社機器設定誤りのため、一般社団法人インターネットコンテンツセーフティ協会ならびに児童ポルノブロッキングを実施している各社への関係はございません。

ご利用中のお客様ならびにサイト運営されている方にご迷惑をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。

どのくらいがブロックされているか？ Interop 2011での発表から

- 警告画面へのアクセス数
- 大手ISP A社 1日5～6000件(4割は携帯系)
- 大手ISP B社 1日1万件強
- B社のDNSクエリは1日130億なので、130万分の1の割合
- リストの数は非公表
- 利用者からの問合せは少々。



今後の課題

- ISP内、ISP～ICSA間の運用（自動化etc）
大手ISPのDNSキャッシュサーバーは数十台から100台以上 手動設定では限界
- DNSブロッキング方式の効果検証（指標、計量化etc）
- 高精度（URL単位ブロッキング）方式の具体的方式
検討、課題抽出、ガイドライン策定

「児童ポルノサイトのブロッキングに関する実証実験」の概要①

背景

犯罪対策閣僚会議(主宰:内閣総理大臣、構成員:全閣僚、平成22年7月)において児童ポルノ排除総合対策を策定。政府として、インターネット上の児童ポルノ流通防止対策としてISP(インターネットサービスプロバイダ)による児童ポルノサイトのブロッキングの自主的導入に向けた環境整備、自主的導入の促進を行うことを決定。

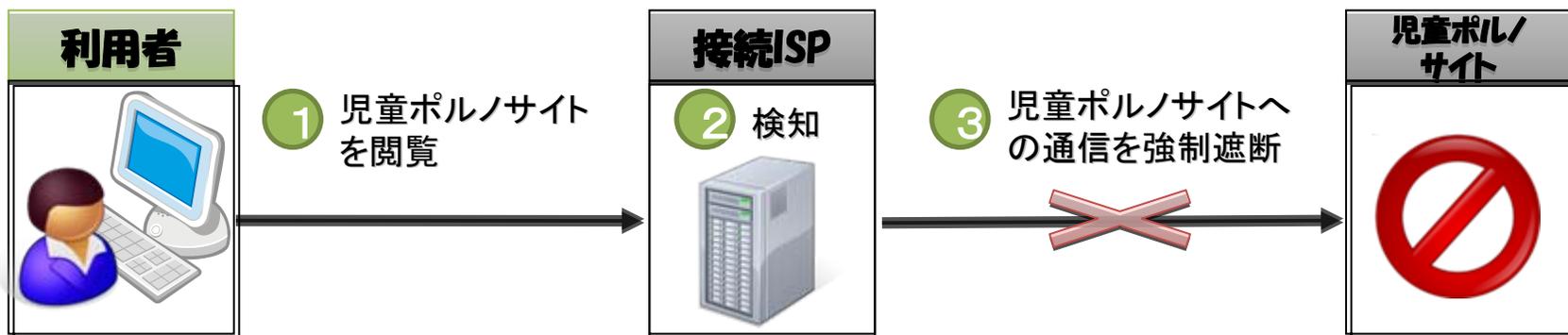
※ 児童ポルノサイトのブロッキングについては、有識者・関係団体から導入を求める意見が政府にも提出されており、導入に向けた環境を整備することが求められている。一方、一部先進取組国では、ブロッキングの導入が進んでおり、G8を中心に児童ポルノ対策について諸外国間の連携が進んでいるところであるが、国連特別報告者による訪日調査において我が国の児童ポルノへの取組が不十分である旨指摘されるなど、児童ポルノ対策の推進が求められている。

児童ポルノサイトのブロッキングとは

インターネット利用者が児童ポルノサイトを閲覧しようとする場合に、ISP(インターネット・サービス・プロバイダ)が、利用者の同意を得ることなく、児童ポルノサイトへの接続に係るホスト名、IPアドレス等を検知し、閲覧を強制的に遮断する措置。

☞ インターネット上の児童ポルノサイトの閲覧防止対策として、効果が期待される。

ブロッキングの模式図



「児童ポルノサイトのブロッキングに関する実証実験」の概要②

ブロッキング導入に当たっての課題

児童ポルノサイトのブロッキングは、憲法上の重要な権利である通信の秘密や表現の自由に不当な影響を及ぼさない運用に配慮することが重要

しかし、現在の方式には、児童ポルノ以外の適法なサイト等をブロッキングしてしまうオーバーストッキングの危険性

児童ポルノサイトのブロッキングにより世界的なネットワークに意図しない障害を発生させる危険性等の技術的課題がある。

ISPの規模に見合った精度の高いブロッキング方式の開発・実証を行い、その導入に向けた支援・環境整備を行うことが重要

実証実験の内容

平成23年度において、以下の項目について実際の利用環境を想定した実証実験を実施し、ISP向けの導入ガイドラインの策定を目指す。

1. ブロッキングの有効性と課題の検討
2. オーバーストッキングを避けるための精度向上に向けた技術的課題の検証
3. ネットワーク全体に及ぼす影響の検証と回避手法の開発
4. 地域ISPによる共同利用型ブロッキングシステム基盤の開発等の支援策について検討